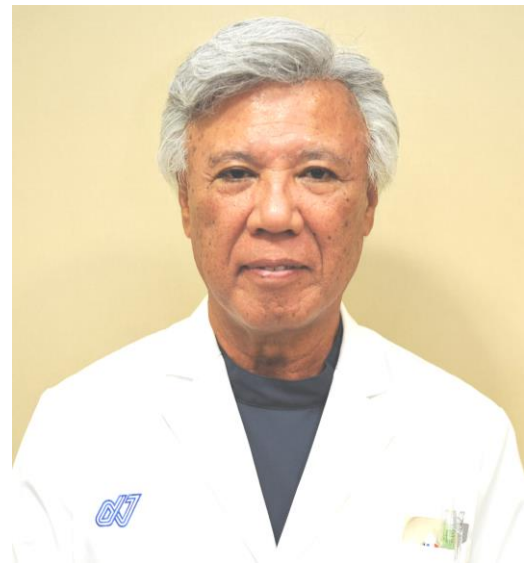


2017.11.3 宮古新報社に掲載されました。

2017年秋叙勲 山内英樹院長 受章

【那覇支局】政府は3日付で、2017年秋の叙勲の受章者を発表した。

今回の県内の対象者は44人で、旭日章を10人、瑞宝章を34人が受章する。このうち宮古関係では、旭日双光章を保健衛生功労で元浦添市医師会会長の山内英樹さん（70 市平良出身）＝浦添市宮城在住、瑞宝双光章を総務省行政事務功労で元沖縄総合通信事務所郵政事業部長の荷川取哲夫さん（74、市城辺出身）＝浦添市仲西在住＝がそれぞれ受章する。発令は同日付。



理事長・院長 山内 英樹

【山内英樹さん】

「勲章は身近に感じていなかったので正直驚いた。同仁病院、八重瀬会、浦添市医師会にとっても名誉だ。私だけでなく、戦後の医療器材が不足するなど厳しい環境の中で頑張った初代院長の祖父・上里忠勝、二代目院長の父・山内朝秀の頑張りを受け継ぎ、3代でもらったものと感じる。宮古同仁病院をルーツとする病院は全国に広がり、医師も100人以上。祖父の力は大了なものだと思う」と受章の感想を話す山内英樹さん。「まだ元気が続く間は、地域や医師会、宮古のために、いろいろと貢献することをやっていきたい。特に、大好きな宮古の活性化に寄与していきたい」と今後の意気込みを語った。

浦添市医師会の会長時代には、全国的にも珍しかった病診連携事業で医療機関の連携を高め、国指定の健康情報活用基盤実証モデル事業にも取り組んだ。八重瀬会2代目理事長の現在は、医療・介護関係など12施設を一カ所に集約した多機能型の「八重瀬アSEMBルガーデン」を浦添市大平に整備中だという。

1946年11月11日生まれ。市平良西里出身。平良第一小、平良中、宮古高校、東京医科歯科大学医学部卒。琉大病院などで勤務。18（大正7）年に字西里に開設した宮古同仁病院が85年9月、浦添市で同仁病院として移設されたのを機に3代目院長に。92年4月には医療法人八重瀬会の2代目理事長に就任。04年から8年は浦添市医師会の会長を務める。ヒロ子夫人との間に1男1女。孫は3人。